

学校教育フォーラムの開催概要

【学校教育フォーラムの概要】

1. 開催目的 小中一貫教育の取り組みや、国際理解教育の重要性、学校と地域の連携、ICT活用の可能性など、小学校・中学校の義務教育のあり方が変革を迎えつつある中で、次代を担う成田市の子どもたちの未来のために、成田市ならではの環境や特性を生かしたこれからの学校教育のあり方を考え、また、現在の成田市の学校教育の今後の方向性について、市民に理解いただく機会とすることを目的とした。
2. 開催日時 平成27年12月20日（日曜日）午後2時～4時
3. 開催場所 成田市文化芸術センター・スカイタウンホール
4. 参加者数 150人

【学校教育フォーラムのプログラム】

1. 開会
2. 開会のあいさつ：関根副市長
3. 基調講演：明石 要一氏（千葉敬愛短期大学学長）
 - ・テーマ「千里を照らして一隅を守る教育」
4. 「成田市学校教育振興基本計画（素案）」の紹介：関川教育長
5. パネルディスカッション
 - ・基本テーマ：「成田市の子どもたちの未来のために、これからの学校教育のあり方を考える」
 - 視点① 地域とともにある学校づくりと小中一貫教育校の今後のあり方について
 - 視点② 成田市の国際理解教育・外国語教育のあり方・今後の方向性について
 - ・コーディネーター：明石 要一氏
 - ・パネリスト：太田 洋氏（東京家政大学人文学部教授）/上田 明日見氏（元成田市国際交流協会職員）/檜山 愛氏（元青年海外協力隊員）/高山 勇氏（下総みどり学園校長）
6. 閉会のあいさつ（総括）：関川教育長
7. 閉会



【学校教育フォーラムの内容】

【基調講演】

○これからのグローバル社会において、常識にとらわれず海外の文化との違いを受け入れることのできる、国際的な幅広い視野を持った「千里を照らす」ことのできる子どもの育成について語られた。さらに、日本の持つ独自の文化・技術、日本の教育力がもたらす勤勉性や正直さ、清潔さ、時間の正確性などの日本人の独特のメンタリティを再認識し、さらには成田市ならではの良さ・自慢が何かを考え、海外へと発信できる「一隅を守る」ことのできる子どもの育成についても語られた。この「千里を照らし、一隅を守る」子どもの育成の2つの視点を持って、計画の中で取り組み、2020年を見据えて成田市発の良い教育と文化を発信したいとの思いを語られた。

【パネルディスカッション】

○成田市ならではの特徴を生かし、これからの成田市の学校教育のあり方、特に英語を通じて自ら考え、発信することができる人材、国際社会や日本の発展に貢献できる人材の育成や、成田市の先進的な教育施策のより一層の充実に対する思いなど、パネリストそれぞれの立場からご意見をいただいた。

《主な意見》

- ・ 太田 洋氏：成田市においては、まちを歩けばいろいろな国の外国人が日常的にいるだけでなく、学校専属のALT配置、しっかりとした教育カリキュラムなど、成田市の地の利を生かした英語教育が強みである。日常的な会話の中でコミュニケーション能力、B I C S (Basic Interpersonal Communication Skills) を育てる環境が成田市には十分にあり、小中学校の卒業生へのアンケートでも「英語をより学びたい」とする回答が8割を超えることはその大きな成果である。
- ・ 上田 明日見氏：成田市の学校においては、ALTが毎日学校にいて、学校の中を外国人の方が歩いているといった環境が日常的にあることは、他の地域では見られない成田市独自のものであり、そういった環境を生かし、伝えたい・交流したいという気持ちを醸成して国際理解の力を高めることが大切である。
- ・ 檜山 愛氏：外国に興味を持ち、海外で活動を行う動機やきっかけになったのは、成田市の小中学校における、英語をはじめとする教育の影響が大きい。また、海外で活動することにより、日本・成田市の良さを改めて再認識した。
- ・ 高山 勇氏：下総みどり学園の様子の紹介とともに、小学1年生から9年生（中学3年生）が同じ空間の中で一緒に集団体験をすることは有意性があり、小中一貫教育の取組みを成田市全体にどんどん発信し、さらに広げていきたい。
- ・ 明石要一氏：成田市に今後お願いしたいこととして、栄養学的な視点や、運動量の視点、社会参加や地域とのコミュニケーションの視点から、子どもの頃からの健康寿命の延伸の意識づけに取り組んでもらいたい。

【まとめ（総括）】

- ・ 関川教育長：「いい出会いとなる機会を与え続けること」「自分は何を伝えたいのか、伝えたい思いをしっかりと持つこと」「将来にわたって学び続けたいと思えるようにすること」など、これからの学校教育を展開する上で、とても良い話を伺えた。本日のフォーラムの内容をしっかりと心に受け止め、本市の学校教育振興基本計画を策定し、地域の方々とともに実践してまいりたいと思う。